



田野 香織

# いながわ 特派員報告



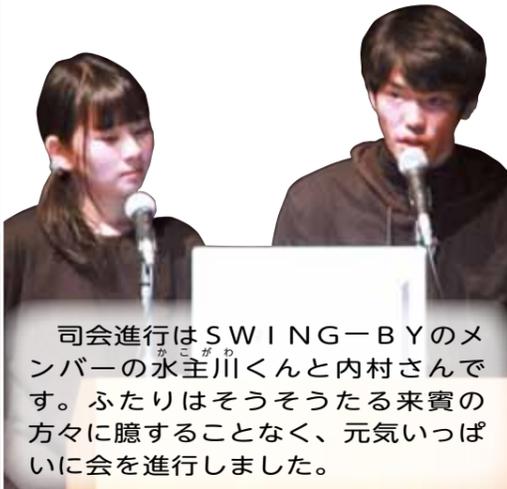
山本のゆり

## 子どもとスマホとその周辺

### INAGAWAスマホサミットに参加してきました

1月18日、イナホールで猪名川町青少年健全育成推進会議主催による、INAGAWAスマホサミットが開催されました。これは、去年の10月号の特派員報告でも紹介した、SWING・BY（スイングバイ）のメンバーたちが、企画し実行委員会を立ち上げてきたもので、もはや生活の一部となりつつあるスマホの未来や問題を、中高生による公開討論という形で実施した全国初の取り組みです。

多数の教育関係者や警察、通信関連会社、総務省、兵庫県立大学の学生（ファシリテーター）、そして、講師として同大学の竹内和雄准教授を招いての大きなイベントとなりました。



司会進行はSWING-BYのメンバーの水主川さんと内村さんです。ふたりはそうそうたる来賓の方々に臆することなく、元気いっぴいに会を進行しました。

**ちょっと驚きました**  
サミットではまず、町内3中学校と猪名川高校の生徒、合わせて1358人に実施したアンケート結果を竹内先生が解説し、子ども達の意見を聞くというパネルディスカッションで始まりました。

**竹内先生** アンケート結果のデータ解析を頼まれたんですけど、まず、高校生のすべてのクラスにLINEのグループがありました。それから、50%以上の人が3時間以上スマホを使っていますね。

**高校生** LINEでやりとりしたり、あと動画見たり、ゲームの種類も豊富だし、ツイッターで有名人のサイトを見たりして、気がついたら（夜中）1時2時。

**竹内先生** なるほど。で、これ、ちょっと驚いたんですけど、会ったことがない人とメールやLINEをしたことがある人がスマホ所持者で58.6%、それに高校女子の3人に1人は



竹内和雄准教授

ネットでも知り合った人と実際に会ったことがある。大学生の立場からはどう思う？  
**大学生** 私なら考えられないです。  
**高校生（女）** 顔写真を見て、イケメンやったら会ってみたいかな…？（笑）  
**高校生（男）** ぼくは考えられないです。

答えは様々ですが、大人の私たちは彼らの価値観に驚き、豊富な知識や正直さに感心し、非常に多いディスカッションとなりました。

#### めざせ！リア充

パネルディスカッションの後は、3グループに分かれた子ども達がスマホの利点・欠点や使う際のルール、対策を観客の前で話し合い、その結果をまとめて発表しました。「必要な時のみスマホを見る」、

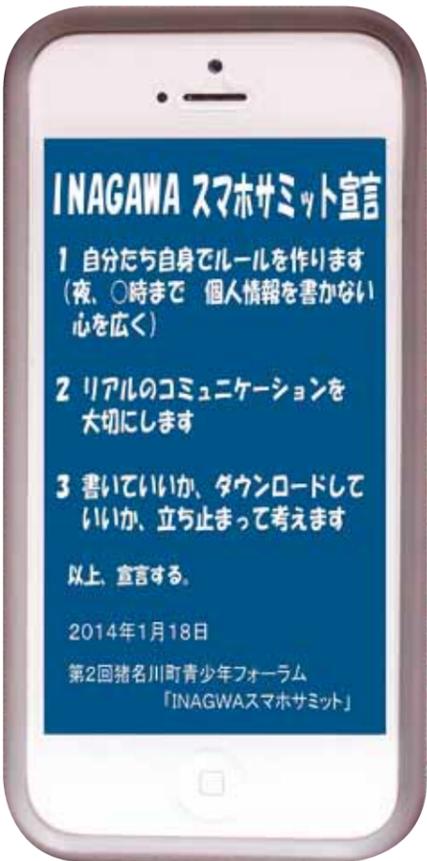
「ネットに情報をアップする時は載せていい内容が再確認する」など様々な意見が出たのですが、どの班にも共通した

のは「現実の世界を大切にすること。困ったら親や友だちに相談する、知らない人とは触れ合わない、目を見て話せる相手を増やすことなどが挙げられました。



#### 猪名川スマホ宣言 発表！

サミットの最後は、ディスカッションや発表内容をもとに、スマホのつきあい方を「猪名川スマホサミット宣言」としてまとめました。さらに、生徒たちはスマホに関する生徒手帳や取り扱い説明書を作りたいとの意欲をみせました。



#### INAGAWA スマホサミット宣言

- 1 自分たち自身でルールを作ります（夜、〇時まで 個人情報を書かない心を広く）
- 2 リアルのコミュニケーションを大切にします
- 3 書いていいか、ダウンロードしていいか、立ち止まって考えます

以上、宣言する。

2014年1月18日

第2回猪名川町青少年フォーラム  
「INAGAWAスマホサミット」

#### 兵庫県立大学 竹内和雄 准教授

大切なことは生身の人生を背負った子ども達が、インターネットで人生を踏み外さないようにすることです。問題はリアル（現実）にあるし、解決もリアルにある。子ども達の思いをいかに具現化するか、手助けをするのが大人の仕事です。

まず私たちが、相談される大人になりましょう。子ども達は、自分たちが決めたことをこの場で終わらせるのではなく、テレビ、広報、新聞、学校で広めて欲しいと言っています。私はそんな彼らを自慢していきたいと思います。

#### 町青少年健全育成推進会議 太田はるよ 会長

若者たちを取り巻く環境は日々変化し、そうした環境を作り出したのは私たち大人の責任だと思っています。スマホは使い方を間違わなければとても便利なものですが、彼らが自分たちでルールを作り、守ることが大切だと思います。

#### 用語解説

**スマホ** スマートフォンの略。電話だけでなく、インターネット、地図、動画、音楽再生など様々な機能が搭載・追加できる。  
**LINE** スマホに追加することで、無料でメッセージ交換や音声通話ができるサービス。  
**リア充** リアル（現実）の生活が充実している人物を指す。

#### スマホサミットに関する問合せ

生涯学習課（☎767・2600）

#### 川西警察署生活安全課 池添望 課長

現実のルール。これは親が教えません。しかし仮想社会のルールを教える人は不在です。ネット社会では、被害者、加害者、どちらの立場にもなり得るのです。家庭教育として、まずは親子で使い方を話し合う事が大切です。

#### 編集後記

大ホールで観客の前に立った子ども達、緊張やら高揚やら恥ずかしさにモジモジしつつも、熱く真剣に意見を述べ、議論を交わしました。次世代を担う子ども達の誠実な姿に胸を打たれると同時に、私たち大人の姿勢を問われる討論会でした。



# ふおと にゅ〜す



給食にぼたん汁が登場

▲ 1月29日、町立幼稚園および小・中学校の給食で「ぼたん汁」が出されました。

ぼたん汁は、地元で獲れたしし肉を使ったみそ仕立て。給食を食べ終えた子ども達は、「初めていのしし肉を食べたけど、においも無くておいしい」「お肉が入ったお汁はにがてだけど、これは大好き」など、ふるさとの味に大満足しました。

## インカートリッジの里帰りにご協力を！

▼町は「インカートリッジ里帰りプロジェクト」に参加し、平成26年1月17日、役場1階ロビーに専用回収箱を設置しました。

集まったカートリッジは、郵便局を経由し、プリンタメーカーごとに仕分けされ、再生カートリッジ、カートリッジ部品などとして再生利用されます。



## 伝統文化の「包丁儀式」



▲ 2月9日、文化体育館小ホールで、開催された「四條猪名川流包丁儀式（主催＝猪名川町食文化研究会）」では、直接手を触れることなく、魚を切り上げていく包丁さばきを古式の衣装姿で披露し、観覧者からは、見事な包丁さばきに感嘆の声があげられました。

## 町表彰式で34人と4団体に賞を贈呈



▲ 2月12日、文化体育館で「平成25年度猪名川町表彰式」が行われ、ツツジ賞、松樹賞、感謝状などの各賞が贈呈されました。これは、昭和52年から毎年行っており、町の自治行政に貢献または住民の模範となる行為のあった個人や団体を表彰するものです。

## 万がーに備えよう！

▼ 2月1日、公民館で防災・減災体験セミナーが行われました。防災に関する一般的な知識の他に、ビニール袋や新聞紙を用いた防災関連グッズの作成、子ども・大人、双方の立場に立った、災害時の行動方法など、実践的な対処法を学びました。



## 県都市区対抗駅伝競走大会で力走！



▲▶ 2月2日、加古川河川敷公園コースにおいて、男子第68回・女子第29回兵庫県都市区対抗駅伝競走大会が実施されました。当日は、猪名川町選抜チームが出場し、男子は、45チーム中、総合11位、3部においては1位となる好成績をおさめるとともに区間では、第1区および第7区で区間賞を獲得しました。また、女子は、45チーム中37位と力走しました。



## 保育園で「鬼は外！」「福は内！」

▲▼ 2月3日、猪名川保育園で節分の行事が行われました。赤鬼がドンドンと窓をたたいて入ってくると、室内は一瞬静まり返り、次の瞬間には泣き出す園児や、物陰に隠れる園児。それとは対照的に勇ましく「鬼は外！福は内！」と掛け声をかけながら豆（新聞紙をまるめて作ったもの）を投げ、鬼に立ち向かう園児など、様々な表情がみられました。



## 内馬場の森（雨森山）に「エドヒガンの小路」開通！

▼▶ 1月22日、内馬場地内の雨森山で、エドヒガン植樹地に設置した、遊歩道の開通式が行われました。この遊歩道は、エドヒガンを近くで眺められるように、森林ボランティア「猪名川町里山倶楽部」の皆さんにより整備されました。植樹地を回遊できるようになりとなっ

ています。山間からの知明湖の風景と相まって、新たな魅力スポットとして今後PRしていきます。



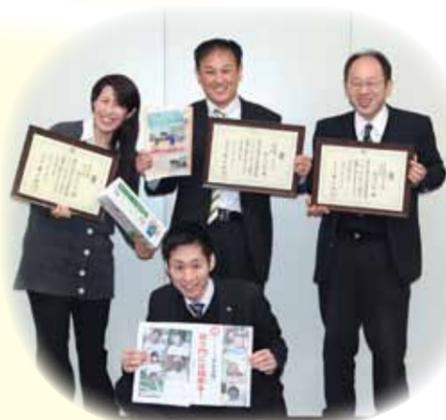
## 県広報コンクール 3部門で入賞！

▶ 2月14日、神戸市で開催された「第61回兵庫県広報コンクール」で、本町の広報が、3部門で入賞しました。

町の広報は、皆さんにとって大切な行政情報や皆さんの活躍、とびっきりの笑顔などをお届けできるよう、今後もよりわかりやすく、町の情報を発信していきます！

日ごろの皆さんのご協力に感謝です。ありがとうございます！

【入賞の結果】①町の部広報紙部門「入選」＝平成25年10月号 ②組み写真の部「企画賞」＝同年8月号2～3ページ ③映像部門「努力賞」＝きらっと☆いながわ同年3月号「ありがとう さようなら 阿古谷小学校～未来へはばたく阿古谷の子どもたち～



## パートナーシップを育む秘訣を知っていますか？

▶ 2月1日中央公民館にて、パートナーシップ専門カウンセラーの佐藤寛之さんから、夫婦・職場・子育てなどの中で、自分も周りも“幸せ”になれる方法についての講話がありました。

参加者からは、今日から実践していこうという前向きな声がたくさんあがりました。次回は3月15日に開催されます。



## 人権について知識を深めた一日



▲ 2月8日に文化体育館で、第43回町人権・同和教育研究会を開催し、約130人が参加しました。

午前は、兵庫県人権啓発協会永松國光さんの「これからの人権・同和教育について」をテーマにした講演を、午後は、猪名同教6つの専門部会が1年間取り組

んだ実践を3分科会に分かれて報告するなど、一人ひとりが人権について深く学ぶ一日となりました。

